



社会福祉
法人

一人ひとりに愛と希望を

九十九里ホーム

第 11 号

平成16年10月25日発行

ひとつぶの麦

社会福祉法人

九十九里ホーム

〒289-2147

千葉県八日市場市飯倉21

TEL 0479-72-1131(代)



赤とんぼ (聖マーガレットホーム 澤田明江さん)

**「どうか、主があなたを助けて 足がよろめかないようにし、
まどろむことなく見守ってくださるように。」**

—旧約聖書 詩編121・3—

聖マーガレットホームの澤田明江さんが口にスティックをくわえてパソコンで描かれたのは赤トンボの絵です。ずっと以前、高原でのキャンプで自然観察のときに高原で飛び交っているトンボが秋に里に下りて赤トンボになる、と聞いてから、赤トンボを見ると目的地を目指した旅を思うようになりました。キリスト教の伝統にも「巡礼」はあります。大陸の長い道のりを何十日も巡礼地を目指して歩く人々があります。目的を目指して自己を見つめつつ歩くということが人間の霊性にとって大切だからです。巡礼をしたある人から、父親と娘が2人で1ヶ月以上も歩いているのに出会ったと聞いたことがあります。すばらしい体験をしている人たちがいると思いました。

日本聖公会八日市場聖三一教会牧師 竹内一也

山田特養ホーム順調にスタート

平成16年4月1日に九十九里ホーム山田特別養護老人ホームが開設し、はや半年が経ちました。入所者70名の方々も生活に慣れてきた様子で、日々お元気に過ごされています。ショートステイ10床も、ご利用者数が順調に増加し、リピーターとなって下さる方も増えました。当デイサービスセンターを併用されている方も多く、ショートステイ利用時にはデイサービスへ遊びに来られ交流をされています。又、入所者の方も同様で入所前のデイサービスの仲間と楽しく過ごす時間を設けるようにしております。

今後も職員一同、入所者の皆様に安心して生活していただけるように日々、努力してい



きたいと思っております。入所者の皆様、ご家族の皆様、そして地域の皆様と共に、よりよい施設づくりを目指していきたく思っておりますので、これからも皆様のご支援を賜りたく願っております。

助成事業の報告

様々な助成をして頂きました

この度日本自転車振興会「平成16年度老人福祉施設の車両整備補助事業」により松丘園に車椅子仕様（リフト付）移送車が整備されました。

車両の両側に描かれた自転車をデザインしたマークがとても素敵でご利用の皆様方にも大変好評です。

今後安全運転を心掛け利用者の方々の送迎に活用させていただきます。



瑞穂園では平成15年度の「NHK歳末たすけあい」義援金により、デジタルTVを購入致しました。従来の放送に加え、BS放送の高画質映像と身震いする迫力サウンドで入所者

の皆さんはTVの時間を楽しみにしています。関係者の皆様に心より感謝申し上げます。



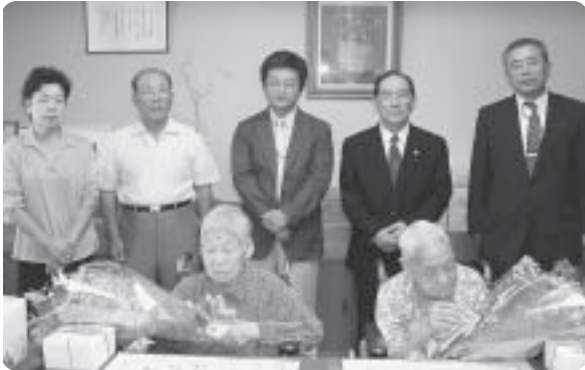
共同募金会からはリフト車

聖マーガレットホームでは、共同募金会からリフト車を寄贈していただきました。施設で2台目のリフト車で、デイサービスを中心に活用しています。今までの車より安定性があり、乗り心地も最高と評判です。ありがとうございました。



100歳おめでとう

松丘園と第二松丘園では敬老の日に先立ち、9/17(金)に100歳を迎えた入所者の方々に、内閣総理大臣からの賞状と各市町村からの記念品の贈呈式がありました。



松丘園 石毛富士子様 町田千代様
八日市場市長 江波戸辰夫様
海匠健康福祉センター長 土戸啓史様 来園



第二松丘園 土屋てる様
光町長 斉藤譲様 光町社会福祉協議会会長 椎名昌様 来園



松丘園 嶋田たか様
野栄町長 伊藤正勝様 同福祉課長 石毛正克様
海匠健康福祉センター長 土戸啓史様
同地域健康福祉課長 柴英子様 来園



松丘園 小渋きよ様
山武健康福祉センター長 大野由記子様 来園

～バランダ栽培で生きがい活動～

「植物の世話をするのが一番の楽しみ」と笑顔で話してくれたのは第二松丘園の八木かつ様です。

毎年いろいろな花や野菜を栽培しています。今年はオクラとミニトマトを作りました。収穫したオクラはみんなでおいしく食べました。

仲良しの林田政様も日々一緒に花や野菜の成長を楽しみにしています。

野菜を育て収穫する喜びや種や球根から花が咲く感動が生きがいとなり、植物を通じて利用者同士、職員とのコミュニケーションが図られています。

第二松丘園



身体障害者療護施設 聖マーガレットホーム

選ばれる施設を目指して ～支援費制度が始まって～

平成7年に開設した聖マーガレットホームも、来年で満10年を迎えます。平成15年4月から、障害者福祉制度は今までの市町村の措置制度から利用者中心の支援費制度へと変わりました。措置制度下においては一律の支援でしたが、支援費制度では支援の必要の度合いに応じて支援費が区分されることとなります。具体的には市町村の担当者が本人に27項目の聞き取り調査を行い、その点数によりA・B・Cの3つのランクに分類されます。



年2回の家族会

支援活動を計画し、充実した施設生活を楽しんでいただけるようにしたいと思います。選ばれる施設としてはまだまだ不十分ですが、利用者や家族の声に耳を傾けながらさらにより施設になるよう努力します。



地元の小学生との交流会

施設での対応は次の通りです。まず、提供できるサービスにはどんなものがあるかを文書できちんと説明をします。また、個人支援計画の作成が義務づけられます。一人ひとりの個性を大切にし、利用者をいちばん理解している介護職員が中心となり、どんな要望や希望があるのかを聞き取りながら総合的に検討をします。それらを利用者本人やご家族に説明をし、契約をすることとなります。さらに、家族会や交流会など特色ある行事や余暇



デイサービスも行っています

平成15年4月から定員7名で障害者デイサービスを、また5月からは定員5名で介護保険適用のデイサービスを始めました。在宅での生活を支援するために家庭まで送迎をし、施設で入浴・給食サービスの他、機能回復訓練などを行います。日曜日以外の午前10時より午後2時半までが利用時間となっています。詳しい内容や費用などについては当施設（☎0479-79-1905）までお問い合わせ下さい。

すばらしいコーラスをありがとう

9月1日、玉川学園大学の合唱団が来園しました。総勢30名近くの方に「ほたるこい」「カントリーロード」「世界にひとつだけの花」など、さまざまな曲を披露していただきました。第二松丘園や瑞穂園からも来園し、みなでお聴きしました。「鳥肌の立つような感動でした。」「CDにして全国の方に聴かせてあげたい。」「マーガレットホーム」「久しぶりに若返った気がします。」「(第二松丘園) など大変好評の感想をいただきました。機会が

あったら是非もう一度聴かせていただきたいものですね。



車椅子の有効活用を図る

マーガレットホームでは、古くなった車椅子は定期的にスリランカに送っています。以前にも紹介をしましたが、今回またその機会を得ました。佐倉に住んでいる山田パトマさんに依頼し、リクライニング型など特殊なものを中心に、10台の車椅子をスリランカに送りました。スリランカでは古い車椅子も貴重品で、大切に使われているそうです。



オセロ大会優勝

障害者施設の交流活動のひとつとして、毎年オセロの千葉県大会が開催されています。マーガレットホームは実力者が多く、県内18の参加施設の中でも上位に位置されています。平成16年度も接戦を制し、見事3回目の優勝を勝ちとることができました。大きなトロフィーとともに帰園した選手は笑顔いっぱいでした。



ボランティア感謝の集い

法人内の各施設で活躍している大勢のボランティアの方々に感謝する場として、ボランティア感謝の集いが毎年成田ビューホテルで開かれています。今年は「現在（いま）を輝いて」というテーマで、舞台朗読家の熊澤南水様を講師としてお招きしました。例年より20名ほど多い約120名の皆様に参加していただき、盛大に行うことができました。前半は熊澤様の人生観をお聞きし、後半は山本周五郎作の「糸車」を感情豊かに語っていただきました。熊澤様の語りにより全員が引き込まれ、静けさの中での講演となりました。「とても良かった。感動した。」との感想が皆様よりありました。次の懇親会では、みなみ蓮様の歌をお聞きしながら、なごやかな雰囲気での食事会となりました。なお熊澤南水様は11月6、7の両日東京の日本橋三越劇場で「南水ひとり語り」が予定されています。お問い合わせは聖マーガレットホーム（☎0479-79-1905）までお願いします。



アルミ缶回収で車椅子寄贈

10月4日、山田町立府馬小学校・八都第二小学校・山倉小学校の皆さんより、九十九里ホーム山田特別養護老人ホームにアルミ缶を回収した収益で購入した車椅子（3台）の寄贈がありました。

アルミ缶回収を児童会の皆さんが主となり、全校・地域の皆様のご協力を得て頑張ってくださいました。当日、各校より児童会の代表と山田町社会福祉協議会の方が来所され、車椅子の贈呈式を行いました。入所者の皆様も大変喜んでいらっしゃいました。

本当に、ありがとうございました。

餅つきペッタン ボランティアとの交流



瑞穂園からは、地元下富谷の城友会の皆様をご紹介致します。城友会の前身は、旧「城部落」の男性の親睦団体としての活動でした。地域社会で奉仕活動を行ってみたいというメンバーの発案で、平成元年に城友会としてのボランティア活動が始まりました。活動は年に2回、夏の盆踊り大会の会場設営、暮れにはお餅をついて下さいます。瑞穂園は小規模な施設です。職員数も少なく、城友会の皆様のご協力は大変貴重な存在です。今後とも、ご支援、ご協力をお願い申し上げます。



敬老会特集



大勢のボランティアの方々が模擬店に協力。



ガールスカウトの訪問で歌やふれあいを楽しみました。

松丘園



第二松丘園

ヴォーチェフローラの皆様が美しい歌声で敬老の日をお祝いしてくださいました。



ミス・ヘンテ記念ケアセンター

敬老のお祝いで、フタバ保育園の園児達が手作りのプレゼントを持って来てくれました。



山田特別養護老人ホーム



山田町の高岡町長と山田町社会福祉協議会童謡部会の皆さんがお祝いに来て下さいました。



瑞穂園

八日市場郵便局とルアナアロハの皆さん



ふれあいシニア講座 ～痴呆のことを勉強しよう～

介護予防に重点を置き、自らが自分の健康について考え行動できる知識を勉強していただく『ふれあいシニア講座』の今回のテーマは"痴呆"でした。

千葉県がんセンター長、千葉県衛生短期大学学長を歴任され、現在特別養護老人ホーム松丘園嘱託医の澤田勤也先生から"痴呆の予防""痴呆の早期発見"について講話をいただき、日常生活の中での留意点を数多く発見できました。

澤田先生の開口一番「皆さん恍惚病って知っていますか？」の問いに会場の参加者の方々は一瞬首をかしげていましたが「お茶を飲んでその後はウトウトしていること」と聞き一同大笑い。澤田先生が命名(?)したそうです。

痴呆にならない為には

- ・人と人とのつながりを大切にすること。
- ・孤独にならないこと。
- ・頭を使う習慣をつけること。
- ・活字に目を通すこと。
- ・朝からテレビではいけません。
- ・肥満に気をつけましょう。
- ・快適な気分で歩きましょう。
- ・自宅でも血圧測定をしましょう。

この話の後、痴呆を疑ったらまず専門的な機関に相談することが大切と結ばれました。間に取り入れたリフレッシュ体操も会場全体が盛り上がり、参加された方々の笑顔が嬉しく感じました。

様々な自治体や機関で痴呆予防や健康教室の取り組みが叫ばれています。今後も参加者の方々が益々健康で過ごせるような『ふれあいシニア講座』を計画していきます。



ユニットケア研修委員として

2004年11月20日(土)に幕張セミナーハウスにて『千葉県ユニットケアセミナー2004』が開催されます。

ユニットケアは、施設で暮らす入所者の「自らの生活を実感するための支援」として展開されるひとつの手段です。現場の職員が五感を働かせ、気づきを築くことが重要だと言われますが、今回のセミナーは、～あなたの施設の主人公は誰ですか？～をサブタイトルに、ケアの主体は誰なのかということをもう一度考え、ユニットケアへ取り組む職員の力となることを目的としています。

第二松丘園介護福祉士 浅野 美由紀

現場で働く職員の声を募ることで、より現場感覚あふれる実践的な内容になるように、今年から福祉現場で働く職員も実行委員の一員として加わることになりました。私は、今まで研修を受ける立場でしたが、実行委員として参加させていただくことで、県の取り組み、他施設の働き、福祉の現状などを知ることができ、大変勉強になりました。

今後も第二松丘園で業務に取り組みながら広い範囲の動きに目を向け、より良いケアを提供できるようにしたいと思っています。

リハビリテーション講習会実施

九十九里ホーム病院リハビリテーション科では、平成16年度の活動として、リハビリテーション講習会を開催しています。多くの法人内各専門職員が参加できるよう、年間7回の開催を予定しています。

講習会はすでに3回行われました。第1回の内容はリハビリテーション概論として、「リハビリとは・リハビリの連携と現在の問題点について」、第2回及び第4回は「介助の理論と方法」、第3回は「ポジショニング」で理論の説明と実技を通しての体験を行いました。参加された皆さんは仕事を終え疲れている時間帯での開催でしたが、延べ参加者数は200名以上となり、熱心に説明を聞き、実技の場面では質疑応答が盛んに行われました。講習会を通して、「今まで行ってきた方法を再確認できた」「実際に現場で生かしていきたい」などの声が聞かれました。

今後「摂食・嚥下障害」について、またご家族を参加対象とした「介助の理論と方法」なども予定しています。



Let's Try! ローリングバレーボール

九十九里ホーム病院 リハビリテーション科 作業療法士 永野亮太



平成16年5月より千葉県で初のローリングバレーボールのチームを結成しました。私のローリングバレーボールとの出会いは、5年ほど前に神奈川で試合を見学したのが始まりでした。このスポーツは、通常のバレーコートを使用し、床に座ったままネットの下からボールを転がして競う競技です。また、健常者から重度障害者までが一緒にプレーできるため、「ノーマライゼーション・スポーツ」ともいえます。このスポーツを通じて、障害を負ってもスポーツを楽しむことを知り、1人でも多くの人に勧めたいと思っています。

実際に、参加者は「汗をかいてとってもスッキリした」と笑顔で帰られる人が多く、中には「もっといいプレーができるように妻と一緒に家で練習してきた」という人もいました。

今後、参加者を徐々に増やしていこうと考えています。興味のある方はリハビリテーション科 永野宛（☎0479-72-1131九十九里ホーム病院）に気軽にご連絡ください。



ご自宅までお伺いします。

九十九里ホームはご自宅にて医療や介護の必要な方に、ご自宅までお伺いしてサービスを提供いたします。訪問介護（ヘルパー）、訪問看護の訪問サービスをデイサービスやショートステイなどと共に一体的に提供し、ご利用者がご自宅にてできる限り自立し、前向きな生活ができるようサポートいたします。

訪問介護 (ヘルパー)

訪問介護は、ヘルパーが利用者のご自宅にお伺いして、食事、トイレ、入浴、衣服の着脱、移動等の生活動作の介助を行う身体介護や、調理、掃除、洗濯、買い物等の生活援助を行うサービスです。独居の方や家族の方に代わってお手伝いします。

訪問看護

訪問看護は、看護師や理学療法士がご自宅にお伺いして、健康チェック、症状の観察とアドバイス、寝たきり・床ずれのケア、リハビリテーション、経管栄養の管理・その他主治医の指示による処置などを行います。訪問介護が生活面の援助であるのに対して、訪問看護はご自宅にて療養をされている方への医療行為を含む援助が主な目的です。

九十九里ホームの訪問サービスネットワークです。
ご利用の申し込みやお問い合わせは以下のところまでお願いいたします。

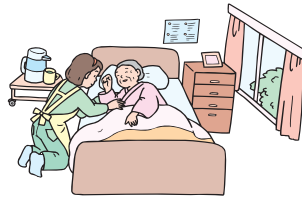


九十九里ホーム ヘルパーステーション

千葉県八日市場市飯倉17-1
TEL 0479-73-2115

第二松丘園 ヘルパーステーション

千葉県匝瑳郡光町宮川12103-1
TEL 0479-84-3969



九十九里ホーム 山田ヘルパーステーション

千葉県香取郡山田町大角1545-16
TEL 0478-70-7171



九十九里ホーム 訪問看護ステーション

千葉県八日市場市飯倉21番地
TEL 0479-72-1131

